

め、このまま採用ということはなかなか難しいと思います。今後、実現化に向けた具体的な検討を進めていくことにしています。

●老朽化している成東中学校の建て替えについて

●現在の成東中学校校舎は、第1期工事が昭和38年3月15日に完了し、築50年を超え、山武郡市内でも最も古い校舎の一つである。平成9年8月31日、耐震補強工事を完了した以外は、50年前のままの造りとなっており、別表のとおり多くの問題がある。校舎を1つにまとめると、さまざまなトラブルを防げると思うが、教育委員会は現状をどのように考えるか。

●教育部長 成東中学校の校舎の状況について、全て把握しているわけではありませんが、議員の御説明のとおりと承知しています。

●成東中学校は、この劣悪な環境の中で

も、昨年山武郡市一の成績を修め、生活態度も山武郡市一と自負している生徒や保護者の学校への期待は、教師の力量によるところが大きい。環境による要因も大きいと思う。校舎新築について本格的に計画したらどうか。

●教育部長 成東中学校の建て替えの必要性は、十分理解しています。昨年11月、市学校のあり方検討委員会に諮問をしており、本市にとって望ましい学校の配置について協議・検討し、来年の3月までに答申がなされる予定です。市全体の学校のあり方の方向性が定まったうえで、成東中学校の建てかえの時期や設置場所など検討していきたいと考えています。

●教育長はどう考えているか。教育長 校舎の老朽化は誰もが認めるところです。市内、郡内、東上総管内のほかの中学校の校舎と比較するとき、その差は歴然として

います。建て替えについて強い要望があること、また、その必要性も十分に認識していますが、一方で、さまざまな状況や課題があります。課題が解決して、展望が開けた暁には、一番に取り組まなければならない課題だと考えております。

個人質問



高橋 忠 議員

●庁議について

●庁議は市長が主宰する幹部職員会議と位置付けられているが、目的と開催日はどうか。

●市長 目的は大きく分けて2つです。1つは縦割り行政を解消するため、横の連携を図ること、もう1つは、行政組織全体にかかわる問題を議論する政策調整会議であること。月二回の定例庁議は、重要な会議と考えています。

●11名の幹部職員が集まり、連絡調整が主な議題になってしまっていないか疑問がある。貴重な時間に開催される幹部会議は、政策調整を主にし、山武市の方向性を議論する場となっているのか。

●市長 その方向で進めていますが、連絡調整が多いと指摘されることもあります。庁議の質を高める努力をし、批判を受けられないよう工夫を重ねています。

●副市長 十分な機能が発揮されないといった指摘もあると思いますが、市長の主宰、ガバナンスの面からも非常に重要な会議であり、機能していると感じていますが、限られた時間のなかでの庁議であり、政策調整会議を主に進めるための会議として機能させるには、進行役の総務部長の見識が重要であると思うがどうか。

●総務部長 連絡調整をできるだけ短時間で、政策調整

に多くの時間を充てるよう努力しています。

●市長 市長が主宰し、市の方向性をしっかりと決める幹部会議です。時間外や土曜、日曜等に主宰することが良いのか、1つの考え方として受け止めたいと思います。

●また、最終的な決定は市長がしますので、すべての決定を庁議に諮るわけではありませんが、全庁的な対応が必要なものについては、庁議の議題としていくことにならうかと思っています。

●こども園について

●あり方検討委員会は子ども・子育て会議に変更されたが、これまで山武地域のこども園化について何回会議を開き、現在どのような方向性が出ているのか。

●保健福祉部長 8月に会議を開催し、山武地域についての考え方を検討し、9月にアンケートを実施しました。国のガイドラインに沿ってニーズ調査を行い、来年度に実施計画を策定しま

す。公私連携で、運営主体は民間にお願いする形で調整を図っていききたいと思っています。

●山武地域には、公設の幼稚園は2園あり、南部と北部にそれぞれ1園開園されている。こども園化について、市として早急に方向性を出し、民間保育園の経営者と詰めた話し合いをすべきと思うがどうか。

●市長 民間の保育園と公立の幼稚園を統合することは、行政側からではわからない様々な問題が出てくると思われます。意見交換をかなりしています。具体的にどこに建てたらどうなるのかを考えて進めていかなければいけないと思います。

●北部地区の民間保育園について、経営の意欲を持っていて、市の事業として積極的に取り組み、土地や建物などについても具体的な話し合いを進め、不安や心配を持つことのないような対応をすべきと思うがどうか。